

コロナワクチン定期接種、自己負担の上限7000円に...自治体が補助上乗せなら減額

2023/12/22 21:20

- [新型コロナ](#)

2024年度から始まる新型コロナウイルスワクチンの定期接種について、厚生労働省は22日、低所得者を除き、自己負担額の上限を7000円にすると発表した。これを上回る場合は国が対策を講じる。定期接種は65歳以上の高齢者などが対象で、自己負担額は、自治体が独自に補助を上乗せすることでさらに減額される可能性がある。



厚生労働省

厚労省によると、ワクチン価格は3260円、注射を打つ手技料は3740円として積算した。インフルエンザのワクチン価格が1500円程度であることを参考にした。

低所得者は無料になるよう、国が接種費用を助成する。

新型コロナの無料のワクチン接種は、2024年3月末で終了する。

2024年4月から65歳以上や60歳から64歳の重い基礎疾患がある人を対象にした定期接種となる。

秋から冬に年1回接種する。対象者には[低所得](#)者を除き、自己負担額が7000円程度になるよう費用の一部が助成されるが、対象者以外は原則、全額自己負担となる。